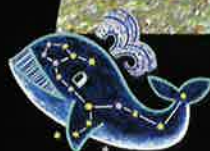


海も山も空もみんなぼくらのともだち

 国立室戸青少年自然の家
National Muroto Youth Outdoor Learning Center



2020年度概要



ようこそ 国立室戸青少年自然の家へ

仲間と宿泊しながら野外アクティビティを体験!

国立室戸青少年自然の家は、室戸岬を南に望み、豊かな緑に囲まれ山や海の自然体験やスポーツ・文化活動を通して、青少年の「規律・協同・友愛・奉仕」の精神を育む場として活用されています。

学校行事、青少年団体の宿泊研修、企業研修等、様々な目的にご利用いただけます。

活動プログラム

海活動

- 1 シーカヤック
- 2 スノーケリング
- 3 スタンドアップパドルボード (SUP)
- 4 磯観察・磯遊び
- 5 ミニクルージング
- 6 イルカの観察

野外活動

- 7 野外炊事
- 8 キャンプファイア
- 9 スコアオリエンテーリング
- 10 フィールドフォトビンゴ
- 11 アートフォトビンゴ
- 12 ナイトハイク
- 13 基地づくり遊び
- 14 冒険の森遊び
- 15 おもしろ自転車
- 16 マウンテンバイク
- 17 室戸岬探勝
- 18 茶摘み
- 19 星空観察
- 20 室戸とクジラの歴史学習(鯨館見学)

ゲーム・レクリエーション活動

- 21 キャンドルファイア
- 22 ロープワーク
- 23 コミュニケーションゲーム
- 24 室内フォトビンゴ
- 25 ペタンク

創作活動

- 26 流木クラフト
- 27 焼き板工作
- 28 小枝工作
- 29 竹細工
- 30 七宝焼き
- 31 備長炭箸置き作り

教育目標

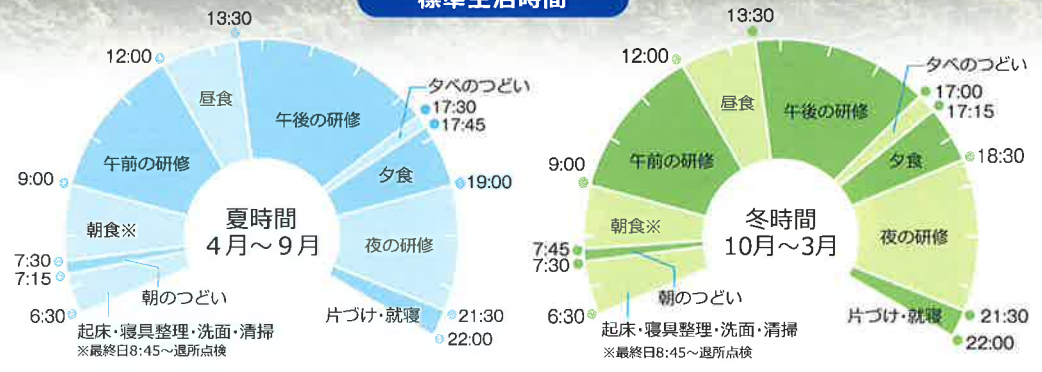
国立室戸青少年自然の家では3つの教育目標を定めています。

- 集団宿泊活動の中でお互いのふれあいを深め、規律・協同・友愛・奉仕の精神を培っていく。
- 自然観察、海や山での活動により、自然の仕組みに関心を持ち、自然に親しむ心や敬けんの念を養っていく。
- 変化に富んだ自然の中で思いっきり体を動かし、心身を鍛え、自分で実践し創造する力や、友だちと助け合う態度を育てていく。

沿革

- 昭和48年 4月11日 国立少年自然の家第1号が室戸市に設置決定
- 昭和50年 5月30日 国立室戸青少年自然の家を設置するための文部省設置法の一部を改正する法律公布
- 昭和50年 10月1日 国立室戸青少年自然の家設置 文部省(現:文部科学省)内に創設準備室発足
- 昭和50年 10月15日 宿泊棟「くろしお」竣工
- 昭和50年 1月12日 所章制定
- 昭和51年 2月25日 管理棟、食堂棟、浴室棟、仲よし広間、研修棟竣工
- 昭和51年 3月1日 宿泊定員200人で一部事業開始
- 昭和52年 1月30日 開所式挙行
- 昭和52年 2月25日 第1ロッジ、第2ロッジ竣工
- 昭和52年 3月1日 宿泊定員400人になる
- 昭和53年 3月20日 フィールドアスレチック、キャンプ管理棟、サイクリング場、農園、農具庫、野外炊飯場竣工
- 昭和54年 3月30日 工作棟、飼育舎、人工池竣工
- 昭和54年 7月27日 宿泊利用者10万人を達成
- 昭和55年 3月25日 ロッジシャワー棟、第2営火場竣工
- 昭和55年 5月11日 常陸宮殿下、同妃殿下御臨席のもと、全国野鳥保護のつどい開催
- 昭和55年 10月26日 開所5周年記念式典挙行
- 昭和57年 5月18日 宿泊利用者20万人を達成
- 昭和59年 8月12日 宿泊利用者30万人を達成
- 昭和60年 10月12日 開所10周年記念式典挙行
- 昭和62年 6月9日 宿泊利用者40万人を達成
- 平成2年 5月25日 宿泊利用者50万人を達成
- 平成4年 7月16日 海浜活動センター竣工
- 平成5年 4月13日 宿泊利用者60万人を達成
- 平成5年 8月31日 展示棟竣工
- 平成7年 10月12日 開所20周年記念式典挙行
- 平成8年 6月25日 宿泊利用者70万人を達成
- 平成9年 3月19日 野外炊飯棟、管理棟新築工事竣工
- 平成12年 5月30日 宿泊利用者80万人を達成
- 平成13年 4月1日 独立行政法人国立少年自然の家に移行
- 平成15年 7月15日 宿泊利用者90万人を達成
- 平成17年 10月28日 開所30周年記念式典挙行
- 平成18年 4月1日 独立行政法人国立青少年教育振興機構に移行、国立室戸青少年自然の家に名称変更
- 平成18年 4月24日 宿泊利用者100万人を達成
- 平成24年 3月22日 宿泊利用者120万人を達成
- 平成27年 4月26日 宿泊利用者130万人を達成
- 平成28年 3月5日 開所40周年記念式典挙行

標準生活時間



施設概要

国立室戸青少年自然の家は、標高約280mの「海成段丘(MARINE(マリン) TERRACE(テラス))」の上であり、約40万㎡の広大な敷地内に様々な施設が点在しています。
また、室戸岬周辺にも海浜活動センターがあり、様々な海の自然体験活動を行うことができます。

- ①センター棟
事務室、医務室、講師室、研修室6
- ②研修棟
プレイルーム、研修室1・2・3
- ③食堂棟
- ④メインホール棟
多目的ホール、ミーティング室、シーツ置き場
- ⑤浴室棟
- ⑥宿泊棟
A・B・C・D棟、バリアフリー浴室、洗濯室、休憩室
- ⑦工作棟
- ⑧体育館
- ⑨展望棟
研修室4・5
- ⑩ロッジ
E・F棟、野外炊事場
- ⑪防災研修棟
- ⑫避難場
- ⑬キャンプ場
キャンプサイト、キャンプ管理棟、トイレ
- ⑭野外炊事場
野外炊事場、管理棟、トイレ
- ⑮海浜活動センター
更衣室、ホール、シャワー室、トイレ
- ⑯クルージング艇
- ⑰星を見る丘
- ⑱すりばち広場
- ⑲マウンテンバイクコース
- ⑳第2営火場
- ㉑草スキー場(養生中)
- ㉒駐車場
- ㉓第1営火場
- ㉔グラウンド
- ㉕茶園
- ㉖冒険の森
- ㉗農園
- ㉘ミニサイクリング場



イラスト/室戸ボランティアリーダー 西内詩乃

2020年度 事業予定

教育事業

No.	事業名	期日	対象・募集人数	概要
1	体験！発見！ジオパーク ①マリンスポーツ編 ②防災学習編 ③歴史・文化編	①8月21日(金)～23日(日) マリンスポーツ編 ②9月19日(土)～21日(月) 防災学習編 ③2月13日(土)～14日(日) 歴史・文化編	小学4～6年生 ①30人 ②30人 ③30人	室戸ユネスコ世界ジオパークを構成している自然や文化、産業について学ぶ事業や防災について学ぶ事業です。
2	ボランティア養成講座	5月30日(土)～31日(日)	高校生・大学生・一般 30人	青少年教育施設ボランティアとしての必要な知識・技能を習得する事業です。
3	ボランティアリーダー自主企画事業	8月15日(土)～21日(金) 12月19日(金)～20日(日)	—	ボランティアリーダー自らが青少年を対象とした事業を企画・運営することを通して、今後地域における中心的な指導者になっていくための企画力・実践力を高める事業です。
4	自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成研修	9月28日(月)～30日(水)	高校生・大学生・一般 30人	実習や講義を通して、自然体験活動の楽しさや喜びを伝えることができる指導者を育成する事業です。
5	自然体験活動総括指導者(NEALコーディネーター)養成講座	11月23日(月)～11月27日(金)	NEALインストラクター資格を所有している者	青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進するための総括指導者を養成する事業です。
6	ふれあい通学合宿 【共催】室戸市教育委員会	2月21日(日)～2月27日(土)	室戸市内の小学5～6年生 50人	室戸市内の小学生が1週間通学しながら自然の家に宿泊し、規則正しい集団生活を通して、生活習慣の改善や仲間とのかわり方を学ぶ事業です。
7	研修指導員養成研修事業 ①スノーケリング編 ②登山編 ③クラフト編	①5月17日(日) ②11月15日(日) ③11月29日(日)	研修指導員として登録を希望する者	海の活動、創作活動等の指導者を養成する事業です。

むろと黒潮・体験の風をおこそう運動推進実行委員会が主催する事業

No.	事業名	期日	対象・募集人数	概要
1	鯨舟競漕にチャレンジ	7月18日(土)～19日(日)	小学4年～6年生 40人	土佐室戸鯨舟競漕大会にチームを作って参加し、地域の自然や文化を学ぶ事業です。
2	ジオパーク生き物ウォッチング 【共催】室戸ジオパーク推進協議会	9月5日(土)～6日(日)	青少年一般 20人	野生動物の専門家のもと、室戸の山で生きている野生動物の観察を行う事業です。
3	MUROTO MARINE TERRACE TRAIL 2020	12月5日(土)～6日(日)	—	地盤隆起によってできた海成段丘(MARINE TERRACE)からなるトレイルランコースを時間内に走る事業です。
4	くろしお祭り	10月24日(土)～25日(日)	青少年一般 200人以上	くろしお200人キャンプとオープンデー(青少年に様々な体験活動の機会を提供する日帰りイベント)を行う事業です。
5	ジュニアクラブ	①6月 ②11月	小学生	自然体験活動や集団宿泊体験を通して、青少年の自主性、協調性、社会性を育む事業です。

利用案内

特徴

国立室戸青少年自然の家は、青少年を対象に体験活動を提供する青少年教育施設です。
利用者自身で身の回りのことをしていただくことになっております。

利用できる団体

- 以下の条件を満たす団体が施設を利用できます。
- ◆成人の引率者を含む、2人以上の団体(家族を含む)であること。
 - ◆政治・宗教・営利活動を行わないこと。
 - ◆利用期間中は、原則として朝・夕べのつどいに参加すること。
 - ◆退所時は、原則として所定の時間内に退所点検を受けること。

利用可能人数

- ◆1団体における最少利用人数：2名
- ◆最大宿泊定員
宿泊棟：300名
キャンプ場：約50名程度

休館日

- ◆年末・年始：12月28日～1月4日
(12月27日の宿泊、28日の日帰りの活動は可能)
- ◆施設・設備の整備日：年間で24日程度
- ◆天災・その他のやむを得ない事情があるとき

利用に必要な経費

1 宿泊

1 施設使用料
◆青少年区分の団体 無料
◆一般区分の団体 1人1泊につき810円
・研修室や体育館等活動場所の使用料は発生しません。
2 シーツ等洗濯料
◆本館 300円
◆キャンプ場 50円 貸出物品の寝袋を使用した場合
・長期宿泊の場合、3泊ごとにシーツを交換していただきます。
・交換ごとにシーツ洗濯代がかかります。
3 講師室使用料
◆1泊につき810円(シーツ等洗濯料別)

2 食事等

1 食堂	朝食	昼食	夕食	合計
中学生以上	450円	590円	690円	1,730円
小学生	440円	580円	670円	1,690円
未就学児(3歳以上)	360円	500円	570円	1,430円

2 弁当	種類	税込単価
◆紙パックのお茶(200ml)のお茶が1個付いています。 ◆一度に複数の種類のお弁当は注文できません。 ◆朝9:30以降に食堂で直接お受取りもしくは、室戸岬までのエリアに配達が可能です。	洋風幕の内弁当	570円
	和風幕の内弁当	570円
	三二おにぎり弁当	430円

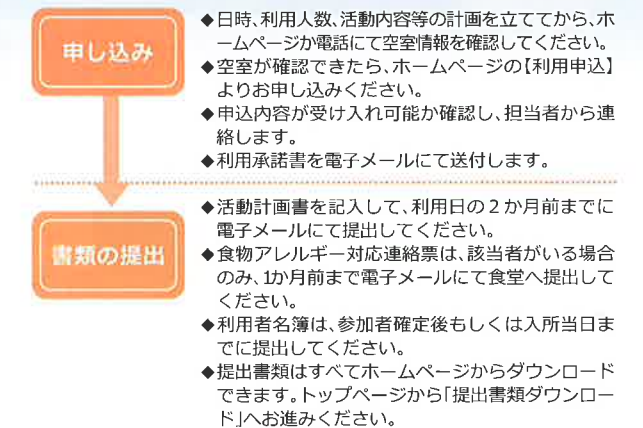
利用の申込み

1 申し込み期間

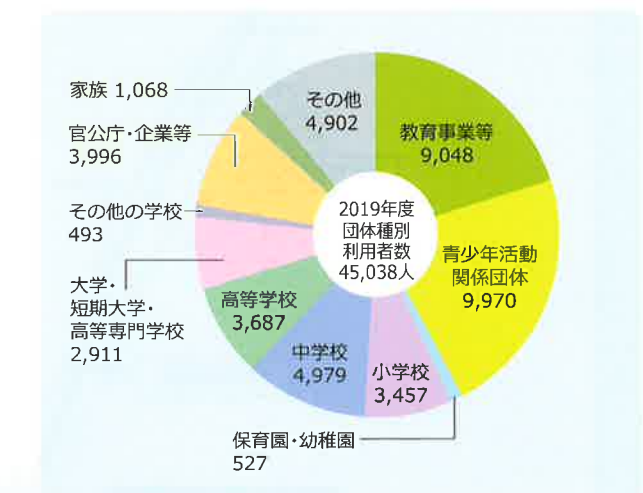
利用人数・利用形態	形態受付開始時期	申込み期限
宿泊利用の団体	1年前の1日午前10時より	原則 利用日の2カ月前 ※ただし、施設利用の制限を承諾していた だけるのであれば、 利用日の3日前まで 受け付けます。
日帰り利用の団体	1カ月前の午前10時より	利用日の2週間前

※2020年度宿泊利用の団体は、利用の申し込み受付期間が1年前からになります。

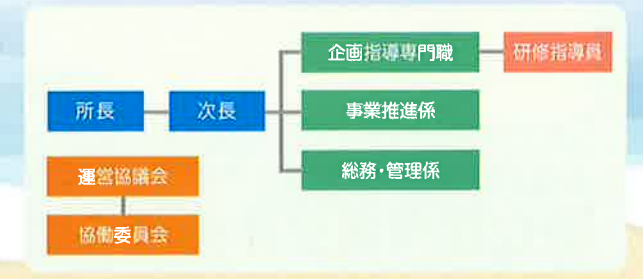
2 申し込み方法



利用状況(団体種別利用者数)



組織



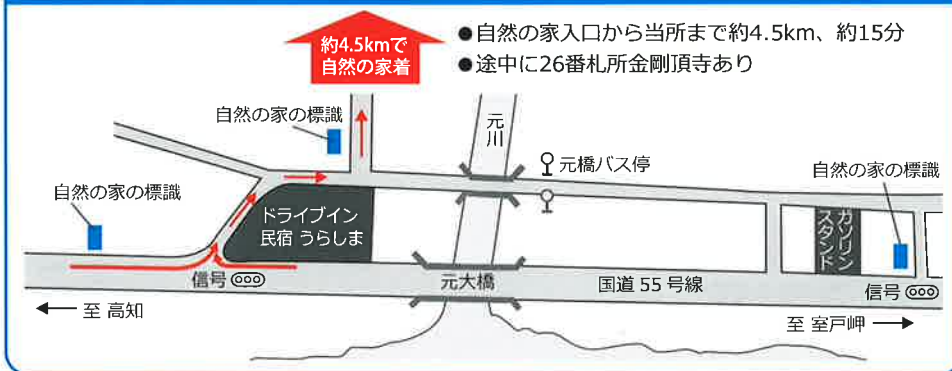
国立室戸青少年自然の家案内図



所要時間

- 高松から
自動車道経由で約3時間30分
- 松山から
自動車道経由で約4時間
- 徳島から
国道55号線で約3時間
- 高知から
国道55号線で約2時間

自然の家への入り口付近詳細図



約4.5kmで
自然の家着

- 自然の家入口から当所まで約4.5km、約15分
- 途中で26番札所金剛頂寺あり

海浜活動センター案内図



独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立室戸青少年自然の家
 〒781-7108 高知県室戸市元乙1721

TEL 0887-23-2313

FAX 0887-23-2484

E-mail. muroto@niye.go.jp

ホームページ. <https://muroto.niye.go.jp/>

体験の風を
おこそう